

No.	事務事業名	霧島市立医師会医療センター運営事業				所属部	保健福祉部			
						所属課	健康増進課			
政策体系	政策名	0	5	たすけあい支えあうまちづくり			課長名	宮本 順子		
	施策名	0	1	医療の充実			所属G(係)	市立病院管理G		
	基本事業名	0	1	医療体制の整備			電話番号			
予算科目	会計	特別	一般	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	霧島市病院事業の設置及び管理に関する条例
				1	3	0	1	0	1	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
霧島市立医師会医療センターは、平成12年7月に旧隼人町が、国の再編整備計画により国から譲渡を受け、管理運営を始良郡医師会に委託する公設民営方式でスタートし、平成18年4月からは指定管理者として診療を行っている。市としては、地方公営企業法等に定める経営に関する基本原則を堅持しながら、経営健全化を図り、経営基盤を強化するため、霧島市立医師会医療センター運営に対して国が地方財政計画に財政措置を講じている額を一般会計から繰出している。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 12 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
19年度実績(19年度に行った主な活動)		単位	
治療を必要とする患者への医療の提供		ア 病床数	
診療科目 内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、外科、整形外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、耳鼻咽喉科		イ 診療科目数	
20年度計画(20年度に計画している主な活動)		ウ	
前年度と同様			
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
救急医療、高度医療が必要な始良・伊佐保健医療圏内住民		名称	
		単位	
		ア 対象人口(医療圏人口)	
		イ (医師会医療センターでの受診希望者(紹介患者数))	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
救急医療(二次救急医療)及び高度医療など質の高い医療が受けられる		名称	
*二次救急医療とは・・・緊急に入院治療を必要とする重症患者に対応		単位	
		ア 外来患者数	
		イ 入院患者数	
		ウ 救急患者数	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
昼間だけでなく夜間においても365日の救急診療が受けられる。専門的な高度医療が受けられる。診療科目がそろっている。		名称	
		単位	
		ア 休日・夜間の救急診療を行なっている医療機関数	
		イ 市内に設置されていない診療科目数	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)	22年度(見込)	23年度(見込)
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円	3,254,018	3,324,489	3,436,910		
		一般財源	千円	125,933	118,086	120,963		
		事業費計(A)	千円	3,379,951	3,442,575	3,557,873		
活動指標	ア 床		250	250	250	250	250	250
	イ 科目		11	10	10	10	10	10
	ウ							
対象指標	ア 人		202,634	203,040	246,214	246,618	247,026	247,434
	イ 人		4,895	4,471	4,600	5,100	5,150	5,200
	ウ							
成果指標	ア 人		58,380	57,521	57,932	61,000	63,000	65,000
	イ 人		64,034	64,983	69,947	72,200	72,500	72,800
	ウ 人		6,526	5,678	5,700	7,100	7,300	7,400
上位成果指標	ア 箇所		6	6	6	6	6	6
	イ 科目		4	4	4	4	4	4
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
国の国立病院再編整備計画により旧隼人町にあった国立療養所が統廃合の対象になり、地域医療を守るためどうしても必要であるということで、平成12年7月に国から旧隼人町が譲渡を受け、管理運営を医師会に指定管理として指定している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
平成15年11月地域支援病院として認定され、開放型病院として開業医・かかりつけ医の先生と連携をとり診療を行なっている。 (開放型病院とは、地域の全ての医療機関、医師の利用のために病床、設備等開放されている病院)	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
・地域の中核病院としての、診療科の充実・脳外科及び小児科の医師確保 ・救急医療の充実・今後の指定管理について	

事務事業名	霧島市立医師会医療センター運営事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課																						
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																											
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	見直し余地がある【理由】 ↘	結びついている【理由】 ↘																								
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	市立医師会医療センターの機能が明確になり救急医療や高度医療の提供が効率的に行なえる																									
	公共関与の妥当性	見直し余地がある【理由】 ↘	妥当である【理由】 ↘																								
なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	以前は国立病院であったが国の再編計画により廃止になり、旧隼人町が地域医療を守るため国から譲渡を受けた。地域には中核病院がなく、また不採算部門の救急・高度医療の充実は行政の役割である。																										
対象・意図の妥当性	見直し余地がある【理由】 ↘	適切である【理由】 ↘																									
対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	始良・伊佐保健医療圏の中における中核的な総合病院であるため																										
有効性 評価	成果の向上余地	向上余地がある【理由】 ↘	向上余地がない【理由】 ↘																								
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	小児科医師等の確保により、さらに高度な診療等が可能になる。																									
	廃止・休止の成果への影響	影響無【理由】 ↘	影響有【その内容】 ↘																								
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	地域の中核病院を担っており、病院がなければ住民に多大な不安をもたらす。特にがん治療等においては、多くの市民の診療を行っている。																										
類似事業との統廃合・連携の可能性	他 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↳ 統廃合できる ↘ 連携できる ↘ 統廃合できない ↘ 連携できない ↘																										
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	200床以上で、精密な検査及び入院・手術ができる病院が1箇所しかないため。 他に手段がない【理由】 ↘																										
効率性 評価	事業費の削減余地	削減余地がある【理由】 ↘	削減余地がない【理由】 ↘																								
	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	地方公営企業法の適用を受け独立採算制のため削減できない。一般会計からの負担金は毎年地方財政計画において交付税措置されている。																									
人件費(延べ業務時間)の削減余地	削減余地がある【理由】 ↘	削減余地がない【理由】 ↘																									
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	病院は国から譲渡を受けるとき直営での運営は財政的に厳しいので、すでに公設民営方式で管理運営を委託しており、現在は地方自治法の改正により指定管理者制度を導入している。																										
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	見直し余地がある【理由】 ↘	公平・公正である【理由】 ↘																								
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	治療が必要な地域住民に行っている。保険診療で点数及び金額が決まっている。																									
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																											
(1) 1次評価者としての評価結果			(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性	適切	見直し余地あり	地域の中核病院としての役割を担っており救急医療・高度医療を行っている。今後は診療科の充実や小児科医の確保に努めなければならない。																								
有効性	適切	見直し余地あり																									
効率性	適切	見直し余地あり																									
公平性	適切	見直し余地あり																									
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																								
廃止	<input type="checkbox"/>	事業のやり方改善(有効性改善)	現状維持	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下				
		コスト																									
		削減	維持			増加																					
成果	向上																										
	維持																										
低下																											
休止	<input type="checkbox"/>	事業のやり方改善(効率性改善)	(従来通りで特に改革改善をしない)																								
目的再設定	<input type="checkbox"/>	事業のやり方改善(公平性改善)																									
事業統廃合	<input type="checkbox"/>																										
< 改革改善案 >																											
治療を必要とする患者への周知。チラシの作成や広報・ホームページを利用し、周知する。																											
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 特になし																											

政策体系	No.	事務事業名	夜間救急診療支援事業	所属部	保健福祉部
	政策名	0 5	たすけあい支えあうまちづくり	所属課	健康増進課
	施策名	0 1	医療体制の充実	課長名	宮本順子
	基本事業名	0 1	医療体制の整備	所属G(係)	地域保健係
				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	医療法
	一般	0 4	0 1	0 5	64090	地域医療対策費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
夜間救急診療支援事業は、市民に365日の小児科・内科の夜間救急医療を提供するために行う事業である。(診療場所)霧島市立医師会医療センター (診療時間)月～金 20:00～23:00, 土,日,祝日 19:00～22:00 (補助金交付先)始良郡医師会	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 18年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度～ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
19年度実績(19年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様。	ア 補助金額	円
20年度計画(20年度に計画している主な活動)	前年度と同様。	イ 開設日数	日
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	・市民 ・始良郡医師会の協力医師 ・補助金交付先>始良郡医師会 <補助対象活動>夜間における初期救急医療の確保	ウ 受診した患者数(延べ)	人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	夜間に初期(一次)救急医療が受けられる。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	昼間だけでなく夜間においても365日の救急診療が受けられる。 専門的な高度な医療が受けられる。 診療科目がそろっている。	ア 人口	人
		イ 協力医師数	人
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		ア 受診した患者数(延べ)	人
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		ア 休日・夜間の救急診療を行っている医療機関の数	箇所
		イ 市内に設置されていない診療科目数	科目
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)	22年度(見込)	23年度(見込)
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	9,071	16,000	17,651		
		事業費計(A)	千円	9,071	16,000	17,651		
活動指標	ア 円	9,071	16,000	17,651	17,651	17,651	17,651	
	イ 日	304	365	365	365	365	365	
	ウ 人	3,266						
対象指標	ア 人	127,615	127,773	128,128	128,383	128,640	128,868	
	イ 人	49	49	49	49	49	49	
	ウ							
成果指標	ア 人	3,266	3,688	3,690	3,692	3,695	3,700	
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア 箇所	6	6	6	6	6	6	
	イ 科目	4	4	4	4	4	4	
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 霧島市国分土曜・休日夜間救急診療所が平成18年4月末日までで休診になったが、それに替わる夜間の初期(1次)救急医療体制を整える必要があったため平成18年6月1日から霧島市夜間救急診療事業が開始になった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 小児科医等の確保が難しくなっており、この事業は今後も非常に大切な事業である。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 住民から受付時間を過ぎたら診てもらえなかった。24時間対応をしてほしいという声があった。	

事務事業名	夜間救急診療支援事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課																										
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																															
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	見直し余地がある【理由】 ↘		結びついている【理由】 ↘																											
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	夜間救急診療支援事業を行うことで夜間に初期(一次)救急医療が365日受けられ、また専門的な高度な医療が受けられることにつながる。																													
	公共関与の妥当性	見直し余地がある【理由】 ↘		妥当である【理由】 ↘																											
なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	医療法第1条の3に基づき実施しており、夜間救急診療支援事業を行うことは市の重要な責務である																														
対象・意図の妥当性	見直し余地がある【理由】 ↘		適切である【理由】 ↘																												
対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	市民の誰もが夜間に適切な初期救急医療を受けられるため、適切である。																														
有効性 評価	成果の向上余地	向上余地がある【理由】 ↘		向上余地がない【理由】 ↘																											
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	現在、深夜帯(23:00~8:00)の夜間救急診療が行われていないため体制を整えることで成果の向上余地がある。また、夜間救急診療支援事業の周知不足により利用しない患者がいることが予想される。																													
	廃止・休止の成果への影響	影響無【理由】 ↘		影響有【その内容】 ↘																											
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	夜間に初期(一次)救急医療が365日受けられたり、また専門的な高度な医療が受けられる機会を失うことになる。夜間における初期救急医療が確保されない場合、市民の生命に問題があり、廃止・休止の影響がある。																														
類似事業との統廃合・連携の可能性	他 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↳ 統廃合できる ↘ 連携できる ↘ 統廃合できない ↘ 連携できない ↘																														
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	他事務事業及び類似事業がない。 他に手段がない【理由】 ↘																														
効率性 評価	事業費の削減余地	削減余地がある【理由】 ↘		削減余地がない【理由】 ↘																											
	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	事業費の総額から診療報酬分を差し引いた分を補填しており、事業費の削減余地はない。																													
人件費(延べ業務時間)の削減余地	削減余地がある【理由】 ↘		削減余地がない【理由】 ↘																												
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	人件費の内容は、補助金等の支出等にかかる必要最小限の事務経費であり、削減の余地はない。																														
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	見直し余地がある【理由】 ↘		公平・公正である【理由】 ↘																											
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	受益者(患者)は医療において必要な経費を負担しており、適正な受益者負担をしていると考えられる。																													
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																															
(1) 1次評価者としての評価結果			(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性	適切	見直し余地あり	夜間救急診療支援事業が開始され1年余りのため周知徹底する必要がある。深夜帯の体制が整っていない。																												
有効性	適切	見直し余地あり																													
効率性	適切	見直し余地あり																													
公平性	適切	見直し余地あり																													
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																												
廃止	<input type="checkbox"/>	事業のやり方改善(有効性改善)	現状維持	<input type="checkbox"/>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持																														
低下	維持																														
	低下																														
目的再設定	<input type="checkbox"/>	事業のやり方改善(効率性改善)	(従来通りで特に改革改善をしない)																												
事業統廃合	<input type="checkbox"/>	事業のやり方改善(公平性改善)																													
< 改革改善案 > 深夜帯の体制が整っていないため、今後救急医療検討委員会や始良郡医師会、医師会医療センターなどの関係機関と協議する必要がある。現在、広報誌やインターネット、携帯サイト等で周知を行っているが今後は、健診等での周知や各医療機関でのポスターの掲示を行う。																															
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 市の財政負担増、他町(始良郡内)の負担金を将来、要請する方法もある。																															

No.		事務事業名	かかりつけ医等推進事業			所属部	保健福祉部
						所属課	健康増進課
政策体系	政策名	05	たすけあい支えあうまちづくり			課長名	宮本 順子
	施策名	01	医療体制の充実			所属G(係)	健康増進G
	基本事業名	02	かかりつけ医を持つなどの市民意識の向上			電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	
						法令根拠	医療法
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
市民一人ひとりが安心して健康的な生活を営むためには、日常の健康管理や疾病予防、治療など身近に安心して、相談できるかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局を持つことが重要であることを広報等で市民に普及啓発をしていく。						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 10 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
19年度実績(19年度に行った主な活動)		単位	
事務事業の概要と同様。		ア 広報回数	
20年度計画(20年度に計画している主な活動)		回	
前年と同様。		イ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		ウ	
市民		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		名称	
市民がかかりつけ医の必要性や正しい医療受診の方法がわかる。		単位	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		ア 人口	
正しい医療受診の知識をもってもらう。いつでも相談できるかかりつけ医を持っている。		人	
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア かかりつけ医を決めている市民の割合	
		%	
		イ かかりつけ歯科医を決めている市民の割合	
		%	
		ウ かかりつけ薬局を決めている市民の割合	
		%	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア かかりつけ医を決めている市民の割合	
		%	
		イ かかりつけ歯科医を決めている市民の割合	
		%	
		ウ かかりつけ薬局を決めている市民の割合	
		%	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)	22年度(見込)	23年度(見込)
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円					
		事業費計(A)	千円	0	0	0		
活動指標		ア 回	1	1	1	1	1	1
対象指標		ア 人	127,615	127,773	128,128	128,383	128,640	128,868
成果指標		ア %	50.9	43.0	52	54	56	58
		イ %	50.2	45.3	45	53	55	57
		ウ %	25.5	22.1	30	32	34	36
上位成果指標		ア %	50.9	51	52	54	56	58
		イ %	50.2	51	52	53	55	57
		ウ %	25.5	28	30	32	34	36

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成10年の医療法の改正により、個人を総合的に診る体制づくりが必要となり、また医療費の適正化対策の一環として重要になってきたため。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
医療法の改正により、かかりつけ医の推進は、在宅医療の推進とともに現在も行われている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

事務事業名	かかりつけ医等推進事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課															
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																				
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?																		
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?																		
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?																		
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?																		
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?																		
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?																		
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)																		
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)																		
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?																		
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																				
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		広報による啓発を強化することで成果の向上が図れる。																		
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																	
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加																	
向上																				
維持																				
低下																				
<改革改善案> ポスターの作成や広報、ホームページ、携帯サイト等を利用し、周知する。																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																				

No.	政策体系	事務事業名	国保療養諸費支給事務事業			所属部	生活環境部	
		政策名	05	たすけあい支えあいまちづくり			所属課	保険年金課
		施策名	01	医療体制の充実			課長名	川崎秀一郎
		基本事業名	03	保険制度の適切な運営			所属G(係)	国民健康保険G
						電話番号	45-5111	

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	特別	02	01	01	206010	一般被保険者療養給付費	国民健康保険法 2条 36条 42条 45条 54条
	特別	02	01	02	207010	退職被保険者療養給付費	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
霧島市の国民健康保険被保険者が、保険医療機関等(柔道整復も含む)で受診してかかった医療費について、霧島市の負担分を支払事務を委託している鹿児島県国民健康保険団体連合会に支払う。 世帯主の申請によって食事代差額、保険者負担分(7割・8割・9割)を支給する場合は以下のとおり。 ・霧島市の国民健康保険被保険者が窓口で負担した食事代と本来負担すべき食事代とで差額が生じた場合 ・保険証が提示できず保険医療機関等で10割負担した場合 ・資格者証を提示して保険医療機関等で10割負担した場合 ・医師の指示で治療器具(コルセット等)を購入した場合 など		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 33 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と目標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
19年度実績(19年度に行った主な活動)		単位	
鹿児島県国民健康保険団体連合会から送られてくる明細書に基づき、県連合会に保険者負担分を支払う。各総合支所で受け付けた申請書に基づき、月に1回第3水曜(食事代差額)、第3木曜(療養費)を支給する。		ア	療養給付費等
20年度計画(20年度に計画している主な活動)		イ	療養費
前年度と同様。		ウ	食事代差額
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
霧島市国保被保険者		名称	
霧島市の国民健康保険被保険者で療養費支給申請された人。		単位	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		ア	被保険者数
被保険者(国民健康保険資格証明書以外の方)は、保険医療機関等で一部負担金(1割・2割・3割)を支払うだけで医療が受けられる。		イ	療養費申請件数
または、一旦全額負担した場合でも、申請によって保険者負担分を支給することで被保険者の負担を軽くする。		ウ	食事代差額申請件数
結果(どんな結果に結び付けるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
安心して必要な医療が受けられる。		名称	
		単位	
		ア	療養給付費等
		イ	療養費支給件数
		ウ	食事代差額支給件数
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア	国民健康保険の被保険者一人当たりの医療費
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)	22年度(見込)	23年度(見込)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	910,217	2,352,495	2,400,681			
		都道府県支出金	千円	332,858	450,239	726,454			
		地方債	千円						
		その他	千円	1,890,465	2,841,483	3,519,486			
		一般財源	千円	4,644,729	2,160,405	1,780,297			
		事業費計(A)	千円	7,778,269	7,804,622	8,426,918			
活動指標		ア	千円	7,774,221	8,046,582	8,406,445	8,500,000	8,800,000	9,000,000
		イ	千円	19,222	18,687	19,523	20,000	21,000	22,000
		ウ	千円	443	910	950	950	950	950
対象指標		ア	人	46,672	45,266	32,355	32,000	32,000	32,000
		イ	件	810	880	950	950	950	950
		ウ	件	160	190	220	200	200	200
成果指標		ア	千円	7,774,221	8,046,582	8,406,445	8,500,000	8,800,000	9,000,000
		イ	件	810	880	950	20,000	21,000	22,000
		ウ	件	160	190	220	950	950	950
上位成果指標		ア	円	270,054	323,159	297,733	312,619	328,249	344,661
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
不時の出来事に備えて誰もが安心して医療が受けられるために国民健康保険制度ができ、被保険者の疾病・負傷、その他保険医が認めるもの(あんま、鍼灸、マッサージ、治療器具)に対して保険給付を行うとしている。昭和33年に事業開始。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
高齢化社会になり、医療費が年々伸びてきている。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
特になし。

事務事業名	国保療養諸費支給事務事業	所属部	生活環境部	所属課	保険年金課																					
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																										
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?																								
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?																								
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?																								
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?																								
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?																								
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?																								
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)																								
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)																								
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?																								
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		霧島市の国民健康保険被保険者が、保険医療機関等(柔道整復も含む)で受診してかかった医療費などについて県国民健康保険団体連合会や被保険者に適切に支払われた。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>/</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>/</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			/		低下			/
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持			/																						
	低下			/																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																										